

まちだの文学の巻



大量の情報の中から目的の情報を見つけ出すのは至難の業かも！？

そこで、調査に役立つ代表選手(図書館資料)をテーマごとにご紹介するこの企画。

今回は、町田市立中央図書館の蔵書の中から、「まちだの文学」に役立ちそうな図書館資料をご紹介します。

町田市に関する資料は「地域資料」として、他の図書とは違う請求記号を付けて、配架しています。

こちらの図書は貸出できます。中央図書館以外でも所蔵しているものがあります。

中央図書館以外の配架場所・所蔵状況は、それぞれの館にお問い合わせください。

1.文学散歩・作家紹介

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
主な内容				
町田が登場する文芸作品	町田市民文学館ことばらんど	同左	2006-2012年	M10-Y0
2006年から6版を重ねるガイド本。町田が登場する場面だけを拾い読みすると、形状や他市との関わりなど、町田市の特徴に改めて気付かされます。このガイドをきっかけに本編に挑戦してみても？町田市をテーマに小説を書きたくなるかもしれません。				
ことばの森の住人たち -町田ゆかりの文学者-	町田市民文学館ことばらんど	同左	2006年	M10-Y0
2006年10月から2007年3月にかけて開催された、町田市民文学館ことばらんどの開館記念展の図録。2000年までに物故した町田市ゆかりの文人23人を、美しい写真と解説で紹介。作家本人やご家族からのメッセージも興味深い一冊。				
町田ゆかりの児童文学作家	町田市民文学館ことばらんど	同左	2007年	M10-Y0
現在も在住の方、以前在住だった方も含め、実は児童作家にもゆかりの方の多い町田市。児童向けのイベントも積極的に行っている文学館ならではの小冊子。				
童話の木 ひなた村創作童話コンクール優秀作品集	町田市	同左	1998-2013年	M10-Y3
小・中・高校生を対象に、1997年から始まり、2012年で16回目となる、ひなた村創作童話コンクール。2012年は366編もの応募がありました。未来の町田市ゆかりの作家が誕生する瞬間に出会えるかも！？				
わが山旅、まちだ文学散歩	寺田 和雄	町田ジャーナル社	1996年	M10-Y0
1990年から16年、4期にわたり町田市長を歴任した寺田和雄氏。“市政に携わる「官」の人でありながら、文学を愛する「文」の人”と町田ゆかりの作家、八木義徳に評された寺田氏の町田への愛に溢れた文学散歩。				
多摩文学紀行	山本 貴男	たましん 地域文化財団	1997年	M01-Y5
多摩地域を舞台にした作品や、多摩に生まれ、育ち、在住した文学者たちの足跡を、その地域の歴史と風土とを関連させながら紹介する一冊。本を片手に実際に歩くことができるようにコースが組まれています。町田市では、八木重吉の生家と北村透谷・美那子出会いの地がとりあげられています。				
多摩文学散歩 -文学碑・墓碑を歩く-	横山吉男	有峰書店新社	1996年	M01-Y0
多摩地域の文学遺跡や歴史遺跡を訪ね歩き、文学碑・史跡碑・墓碑を中心に収録。碑文の解読にも挑戦しています。町田市に芭蕉の句碑があること、知っていましたか？				

2. ゆかりの作家をさらに深く！

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
主な内容				
鶴川日記	白洲 正子	PHP研究所	2010年	M10-Y4
白洲夫妻が晩年を過ごした鶴川にある武相荘。ここで多くの名随筆が書かれました。伝記だけでなく夫妻の食卓やお洒落など、関連本を地域資料コーナーでもご用意しています。町田で素敵に生きる方法がわかるかも？『鶴川日記』については「白洲正子を読む会」の市民研究員の方々が編集された『白洲正子を読みとく-鶴川日記注釈集-』と併せてお読みになることをお勧めします。初版は1979年に文化出版局から刊行。				
森村誠一読本	山前 譲 編	ケイエスエス	1998年	M10-Y0
人気小説家、森村誠一氏。多作なことでも知られる森村氏ですが、その人自身も非常にフットワークの軽い、魅力的な方です。小説だけではなく人物像に迫りたいなら、ぜひご利用ください。				
八木重吉に出会う本	——	いのちのことば社	2003年	M10-Y1
現在の町田市相原町に生まれ14歳まで過ごした八木重吉。29歳の若さで亡くなりましたが、素朴で優しい詩の数々を残し、今も多くのファンを持っています。彼の生涯と詩の両方を味わえる、美しい1冊。相原町には記念館もあります。				
遠藤周作とPaul Endo -母なるものへの旅-	町田市民文学館ことばらんど	同左	2007年	M10-Y0
1963年から約25年間、町田市玉川学園に在住した遠藤周作。この間に『わたしが・棄てた・女』や『沈黙』等、多くの代表作が生まれました。母の願いにより受けた洗礼体験(洗礼名:Paul ポール)が、その後の作家人生にどのような影響を与えたのかを探る、文学館開館1周年を記念する特別企画展の紹介です。				
ひとりぼっちの幸せ	みつはし ちかこ	イースト・プレス	2013年	M10-Y4
大ブームをまきおこした漫画、『小さな恋のものがたり』。夫も、サリーのモデルだった高校時代の同級生も、今は故人に。玉川学園在住の作者がひとりの楽しみ方を書いた、タッチを描いてから50年目のエッセイ。				

3. 配布できる資料もあります

- 町田文学散歩マップ
- 町田が登場する文芸作品(ダイジェスト版)
- 白洲正子が歩いた三輪
- 白洲正子が歩いた「東京の坂道」
- まほろ横丁×栄商店街map

*ご要望の方は職員までどうぞ！



**町田市民文学館
ことばらんどにも行って
みてほしいんだぽん！**

今回ご紹介した資料の多くは、町田市民文学館で作成されたものです。ゆかりの作家の貴重な資料も所蔵しており、イベ

☆ 今回紹介した地域資料の請求記号は、他の図書とちょっと違います。上段のMIは地域を示し、M10は町田市を、M01は多摩地域を示します。下段のYは文学を表します。書架では、同じ地域ごとにグループ分けし、さらにその中でA～Zの順に地域資料を並べています。

M10は町田市
請求記号M10-Y0の

Y0は文学総配
・文学散歩



地域を示す。
地域資料の青ラベル

ジャンルを示す。

【製作・発行】

町田市立中央図書館
〒194-0013 町田市原町田3-2-9

